

ツインアクセル（ブラジル国債& オーストラリア小型株式） 《2021-01》

運用報告書（全体版） 満期償還

（償還日 2021年1月27日）

（作成対象期間 2020年9月29日～2021年1月27日）

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約6年5カ月間（2014年8月19日～2021年1月27日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資 対 象	ベビーファンド	イ. ダイワ・ブラジル国債マザー ファンド《2021-01》の受益 証券 ロ. ダイワ・オーストラリア小型 株式マザーファンドの受益証券 ハ. ブラジル・リアル建てのブラ ジル国債
	ダイワ・ブラジル 国債マザーファンド 《2021-01》	ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワ・オーストラリア 小型株式マザーファンド	オーストラリアおよびニュー ジーランドの金融商品取引所上 場（上場予定を含みます。）また は店頭登録（登録予定を含み ます。）の株式（DR（預託証 券）を含みます。）
組入制限	ベビーファンドの株式組入上限比率	無制限
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド 《2021-01》の株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
	ダイワ・オーストラリア小型株式 マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジル国債およびオーストラリアの小型株式等に投資し、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200指数 (円換算)		ブラジル・リアル 為替レートの		株式 組入比率	公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰落 中率	(参考指数)	期騰落 中率	(参考指数)	期騰落 中率				
3期末 (2017年9月26日)	円	円	%		%	円	%	%	%	%	百万円
	11,600	10	25.4	9,393	20.4	35.31	13.6	34.8	55.4	5.0	7,682
4期末 (2018年9月26日)	10,542	10	△ 9.0	9,476	0.9	27.71	△21.5	40.3	49.8	4.3	4,808
5期末 (2019年9月26日)	10,548	10	0.2	9,119	△ 3.8	25.97	△ 6.3	37.8	52.2	5.8	3,512
6期末 (2020年9月28日)	9,790	10	△ 7.1	8,276	△ 9.2	18.94	△27.1	46.9	42.7	5.7	2,553
償還 (2021年1月27日)	10,598.55	-	8.3	10,252	23.9	19.37	2.3	-	-	-	1,816

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

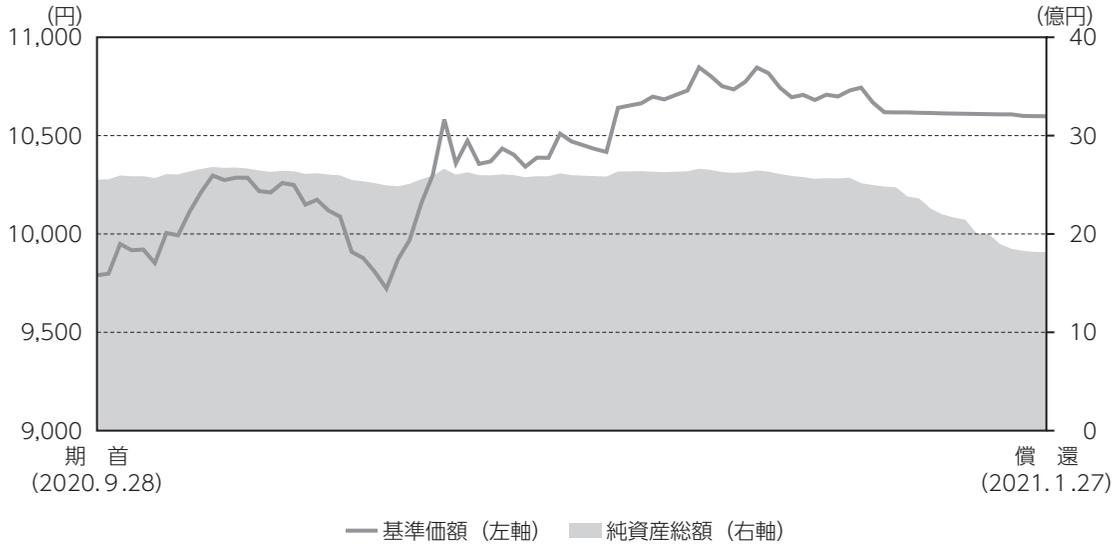
(注6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：10,598円55銭（既払分配金60円）

騰落率：6.6%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

設定以来の基準価額は、ブラジル債券の価格が上昇したことやオーストラリア株式市況が上昇したことがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

ツインアクセル（ブラジル国債&オーストラリア小型株式） <<2021-01>>

年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (円 換 算)		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト		株 式 組 入 率 比	公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 証 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期首)2020年 9 月28日	円 9,790	% -	8,276	% -	円 18.94	% -	% 46.9	% 42.7	% 5.7
9 月末	9,949	1.6	8,400	1.5	18.77	△0.9	47.7	41.6	5.7
10月末	9,807	0.2	8,198	△ 1.0	18.09	△4.5	50.3	40.2	5.8
11月末	10,432	6.6	9,491	14.7	19.46	2.7	50.1	40.3	5.8
12月末	10,729	9.6	9,876	19.3	19.90	5.1	-	39.6	-
(償還)2021年 1 月27日	10,598.55	8.3	10,252	23.9	19.37	2.3	-	-	-

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

(2014.8.19~2021.1.27)

■ブラジル債券市況

ブラジル債券市況は、金利が低下（債券価格は上昇）しました。

ブラジル債券市況は、新興国全般に対する市場心理の悪化などを受け、金利は設定より上昇して始めました。その後2015年にかけては、財政再建がテーマとなりました。政府と議会との対立によって追加増税法案の成立が遅延したことや緊縮財政に積極的な財務大臣が辞任するなど、財政懸念が高まった局面で金利は上昇しました。通貨安によるインフレ懸念の広がりも金利上昇要因となりました。2016年以降、金利は低下に転じました。財政再建への期待が高まったことやインフレ率の低下を背景に中央銀行が継続的に利下げを行ったことなどが低下要因でした。2018年は、新興国からの資金流出懸念を背景に金利は上昇しましたが、10月の大統領選挙でボルソナロ氏が勝利すると、新政権への期待感などから金利は低下しました。2019年半ば以降は、政府と議会の協力関係構築に向けた動きが見られ、年金改革への期待感が一段と高まる中で世界的に金融緩和観測が高まり、ブラジル中央銀行も利下げを再開したことを背景に、金利は一段と低下しました。2020年以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことで急激にリスク回避的な動きとなりましたが、ブラジル中央銀行を含む各国の金融当局が大規模な金融緩和策を実施したことは金利低下要因となりました。

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、設定から2016年半ばにかけて、原油や鉄鉱石価格の下落、また米国の利上げ時期を巡る不透明感などを受けて上値の重い展開が続きました。その後、いったんは上昇に転じましたが、米国の早期利上げ観測の再燃や中国の貿易統計が市場予想を下回ったことから下落し、2017年9月にかけてはボックス圏での推移となりました。2018年9月にかけては、米中貿易摩擦への懸念が後退したことやオーストラリアのGDP（国内総生産）が市場予想を上回ったことなどを受け、堅調に推移しました。2018年末にかけては、米中貿易摩擦を巡る動向や世界経済の減速への警戒感などから、世界的に株式市場が軟調となる中で下落基調となりました。2020年2月中旬にかけては、米中通商協議の進展期待やRBA（オーストラリア準備銀行）の緩和的な金融政策姿勢などが好感され、上昇基調で推移しました。その後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済への影響が懸念されて急落しましたが、各国の政府や中央銀行による支援策や新型コロナウイルスのワクチンの開発期待などから反発するなど、変動の大きな展開となりました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落（円高）しました。

ブラジル・レアルの対円為替相場は、設定から2015年2月にかけては対円でおおむね横ばいで推移しました。その後、ブラジル経済見通しの低迷やペトロブラスの汚職問題等により投資家心理が悪化したこと、米国の利上げ観測やギリシャ債務問題、また中国景気への懸念などが、新興国・資源国からの資金逃避の動きにつながったことなどから、レアルは対円で大幅に下落しました。しかし2016年3月

になると、原油価格が底打ちして株式市場が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだこと、ルセフ元大統領の弾劾手続きが進展して政権交代期待が高まったことで、レアルは上昇基調となりました。2018年に入ると、世界的な株価下落の中で市場参加者のリスク回避的な姿勢が強まったこと、国内の景気悪化懸念や政治の不透明感などがレアルの下落圧力となりました。2019年8月には、米中貿易摩擦が激化したことによって世界的にリスク回避の動きが強まり、レアルは売られました。2020年以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことで金融市場が急激にリスク回避的な動きとなり、レアルは大きく売られました。

オーストラリア・ドルは対円で下落しました。

オーストラリア・ドルの対円為替相場は、設定から2016年半ばにかけて、原油や鉄鉱石を中心とした商品市況が下落したことやRBA（オーストラリア準備銀行）による利下げなどを受けて下落しました。2017年9月にかけては、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けた市場のリスク選好の強まりや、オーストラリアの雇用者数の伸びが市場予想を上回る内容だったことなどが支援材料となり、上昇しました。その後は、原油価格の下落を受けたリスク回避姿勢の強まりや米国が中国製品に対する関税引き上げを表明したことによる米中貿易摩擦激化への懸念などを受け、下落基調となりました。また2020年2月には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて急落しましたが、その後の各国の政府や中央銀行による支援策、新型コロナウイルスのワクチンの開発期待などから反発するなど、変動の大きな展開となりました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫」と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」を通じて、ブラジル・レアル建てのブラジル国債およびオーストラリアの小型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざします。また、合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけて運用します。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫

主として、ブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

主として、オーストラリアの小型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざします。また、ニュージーランドの小型株式等にも投資します。外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

信託期間中のポートフォリオについて

(2014.8.19~2021.1.27)

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけて運用しました。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有しました。

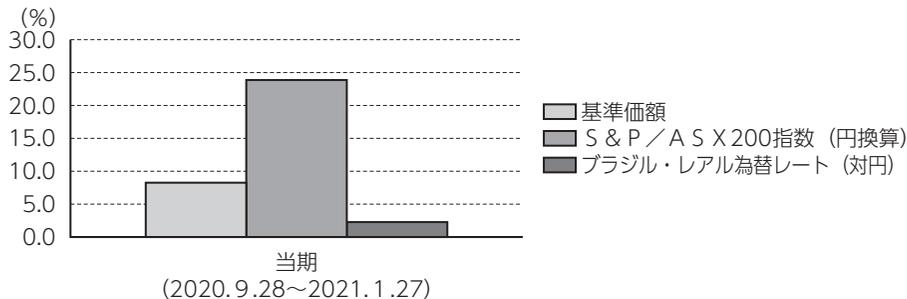
■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、主としてオーストラリアやニュージーランドの小型株式等のうち、強固なバランスシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期中における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当り、第1期～第6期各10円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020.9.29~2021.1.27)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	63円	0.609%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,417円です。
(投 信 会 社)	(31)	(0.299)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.292)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.018)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.017	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.016)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.032	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	69	0.658	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

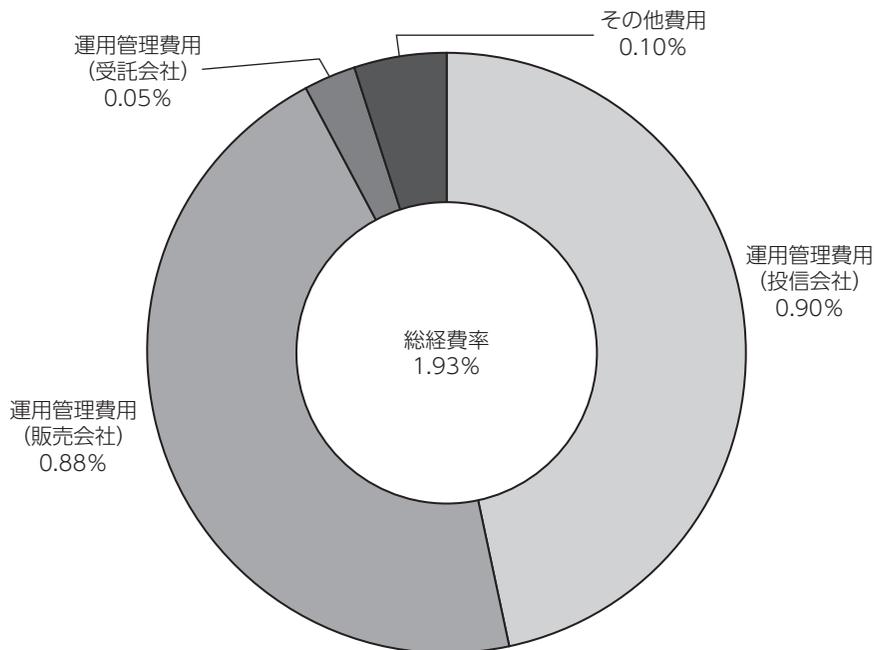
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年9月29日から2021年1月27日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ブラジル国債 マザーファンド《2021-01》	-	-	1,212,425	1,153,022
ダイワ・オーストラリア 小型株式マザーファンド	-	-	926,468	1,620,445

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年9月29日から2021年1月27日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,535,763千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,266,706千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.21

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首
	口 数
	千口
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	1,212,425
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	926,468

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年1月27日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,862,340	100.0
投資信託財産総額	1,862,340	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年1月27日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	1,862,340,885円
コール・ローン等	1,862,340,885
(B) 負債	45,462,798
未払解約金	30,019,058
未払信託報酬	15,442,541
未払利息	1,199
(C) 純資産総額(A - B)	1,816,878,087
元本	1,714,269,997
償還差損益金	102,608,090
(D) 受益権総口数	1,714,269,997口
1万口当り償還価額(C / D)	10,598円55銭

*期首における元本額は2,608,156,452円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は893,886,455円です。

*償還時の計算口数当りの純資産額は10,598円55銭です。

■損益の状況

当期 自2020年9月29日 至2021年1月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 2,223円
受取利息	397
支払利息	△ 2,620
(B) 有価証券売買損益	154,117,494
売買益	214,720,259
売買損	△ 60,602,765
(C) 信託報酬等	△ 15,442,541
(D) 前期損益金(A + B + C)	138,672,730
(E) 前期繰越損益金	△ 38,679,983
(F) 追加信託差損益金	2,615,343
(配当等相当額)	(805,546)
(売買損益相当額)	(1,809,797)
(G) 合計(D + E + F)	102,608,090
償還差損益金(G)	102,608,090

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：3,792,387円（未監査）

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年8月19日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2021年1月27日		資産総額	1,862,340,885円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	45,462,798円
				純資産総額	1,816,878,087円
受益権口数	30,703,621,417口	1,714,269,997口	△28,989,351,420口	受益権口数	1,714,269,997口
元本額	30,703,621,417円	1,714,269,997円	△28,989,351,420円	1単位当り償還金	10,598円55銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	28,334,514,978	21,559,831,678	7,609	10	0.10
第2期	14,553,666,206	13,470,351,116	9,256	10	0.10
第3期	6,622,812,644	7,682,200,819	11,600	10	0.10
第4期	4,561,895,201	4,808,989,900	10,542	10	0.10
第5期	3,330,070,809	3,512,717,914	10,548	10	0.10
第6期	2,608,156,452	2,553,286,035	9,790	10	0.10

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	10,598円55銭

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021-01>>

運用報告書 満期償還 (償還日 2021年1月26日)

(作成対象期間 2020年9月29日~2021年1月26日)

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021-01>>の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

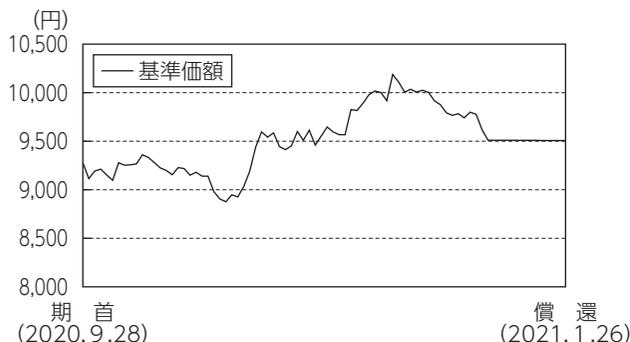
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		ブラジル・レアル為替レート		公 社 債 組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期首)2020年9月28日	9,278	-	18.94	-	97.0%
9月 末	9,193	△0.9	18.77	△0.9	96.9
10月 末	8,876	△4.3	18.09	△4.5	95.8
11月 末	9,567	3.1	19.46	2.7	95.0
12月 末	9,799	5.6	19.90	5.1	94.0
(償還)2021年1月26日	9,507.43	2.5	18.98	0.2	-

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
- (注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
 設定時：10,000円 償還時：9,507円43銭 騰落率：△4.9%
 【基準価額の主な変動要因】

投資しているブラジル債券の利息収入はプラス要因になったものの、ブラジル・レアルが円に対して大きく下落（円高）したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆設定以来の投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル債券市況は、金利が低下（債券価格は上昇）しました。

ブラジル中央銀行は2013年から利上げ局面に入り、2014年前半にかけては、新興国全般に対する市場心理の悪化やウクライナをめぐる欧米諸国とロシアとの対立の強まりも、ブラジル債券の金利上昇要因となりました。2015年にかけては、財政再建がテーマとなりました。政府高官を巻き込む大手石油会社ペトロbrasの汚職問題の発覚、政府と議会との対立により追加増税法案の成立が遅延したことや緊縮財政に積極的な財務大臣が辞任するなど、財政懸念が高まった局面で金利は上昇しました。通貨安によるインフレ懸念の広がりも金利上昇要因となりました。2016年以降、金利は低下に転じました。中央銀行の金融政策への姿勢が利下げへ転換するとの市場の思惑から、金利は大幅に低下しました。また、ルセフ元大統領に対する弾劾への期待が高まるに連れ、政権交代による構造改革への期待も金利低下要因となりました。2016年後半は、政府の財政赤字削減目標が議会で承認された歳出削減法案が可決されたことで、財政再建への期待が高まりました。2017年は、テメル前大統領の汚職隠ぺい疑惑が報道されたことで、財政健全化への不透明感が高まり、一時的に金利が上昇する局面もありましたが、おおむ

ね金利低下基調となりました。中央銀行はインフレ率の低下を背景に利下げを継続的に行いました。2018年は、大統領選挙の不透明感や米ドル高を受けた新興国からの資金流出懸念を背景に金利が上昇し、5月末にかけてトラック運転手らによる大規模なストライキが起ころ、インフレ懸念で金利上昇が加速しましたが、10月の大統領選挙で市場に友好的な政策志向とされるボルソナロ氏が勝利すると、新政権への期待感や通貨高を受けて政策金利の利上げ見通しが後退したことなどから、金利は低下しました。2019年半ば以降は、政府と議会が協力関係の構築に向けた動きが見られ、年金改革への期待感が一段と高まった一方、世界的に金融緩和観測が高まり、ブラジル中央銀行も利下げを再開したことを背景に、金利は一段と低下しました。2020年前半は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことで金融市場が急激にリスク回避的な動きとなりましたが、ブラジル中央銀行を含む各国の金融当局が大規模な金融緩和策を実施したことで金利は低下しました。その後は、ブラジルの感染者数が高止まりしていることから金利が上昇した局面もありましたが、新型コロナウイルスのワクチンが開発された報道を機に、金利は再度低下しました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落（円高）しました。

ブラジル・レアル円為替相場は、2014年1月より、アルゼンチン・ペソをはじめとする新興国通貨が売られると、レアルに対する売り圧力が強まりましたが、政府がレアル買い介入方針を継続したことに加えて健全な財政運営に取り組む姿勢を示したことや、中央銀行が利上げを継続したことが好感され、円安レアル高に転じました。2014年後半は、商品市況の下落などからレアルは対米ドルでは下落しましたが、日銀の追加緩和などを背景に円安米ドル高が進行したことで、12月末にかけてレアルは対円では横ばい推移となりました。その後、ブラジル経済見通しの低迷やペトロbrasの汚職問題等により投資家心理が悪化したことなどから、2015年2月にかけて大きく下落しました。3月以降は、米国の利上げ観測やギリシャ債務問題、また中国景気への懸念などもあり、新興国・資源国からの資金逃避の動きから、レアルは対円で再度下落し、その後、国内の政治的混乱や長期国債の格下げが続いたことなどが嫌気され、大幅に下落しました。しかし2016年3月になると、原油価格が底打ちして株式市場が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだこと、ルセフ元大統領の弾劾手続が進んで政権交代期待が高まったことで、レアルは上昇基調となりました。2017年は、テメル前大統領の汚職隠ぺい疑惑の報道により、財政改革等が滞るとの懸念から一時的にレアルが下落する局面がありましたが、おおむね堅調に推移しました。2018年は、世界的な株価下落の中で、市場参加者のリスク回避的な姿勢が強まったことや、国内の景気悪化懸念や政治の不透明感などがレアルの下落圧力となりましたが、10月の大統領選挙でボルソナロ氏が勝利したことから、レアルは上昇しました。2019年は、8月に米中貿易摩擦が激化したことによつて世界的にリスク回避の動きが強まり、レアルは売られました。2020年以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことで金融市場が急激にリスク回避的な動きとなり、レアルは大きく下落し、その後は横ばいで推移しました。

◆信託期間中の運用方針

主として、ブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。

◆信託期間中のポートフォリオについて

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	5 (5)
合 計	5

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2020年9月29日から2021年1月26日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル —	千ブラジル・レアル 7,060 (78,640)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2020年9月29日から2021年1月26日まで)

当			期		
買	付		売	付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
			Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F(ブラジル) 10% 2021/1/1		135,937

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

■ 投資信託財産の構成

2021年1月26日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 1,288,912	% 100.0
投資信託財産総額	1,288,912	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■ 資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年1月26日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	1,288,912,100円
コール・ローン等	1,288,912,100
(B) 負債	656
未払利息	656
(C) 純資産総額(A-B)	1,288,911,444
元本	1,355,688,510
償還差損益金	△ 66,777,066
(D) 受益権総口数	1,355,688,510口
1万口当り償還価額(C/D)	9,507円43銭

* 期首における元本額は1,838,522,420円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は482,833,910円です。

* 償還時における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ツインアクセル(ブラジル国債&オーストラリア小型株式) <<2021-01>> 762,375,194円、ツインアクセル(ブラジル国債&世界小型株式) <<2021-01>> 593,313,316円です。

* 償還時の計算口数当りの純資産額は9,507円43銭です。

* 償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は66,777,066円です。

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021-01>>

■損益の状況

当期 自2020年9月29日 至2021年1月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	39,012,569円
受取利息	39,029,140
支払利息	△ 16,571
(B) 有価証券売買損益	5,333,531
売買益	38,482,045
売買損	△ 33,148,514
(C) その他費用	△ 925,931
(D) 当期損益金(A + B + C)	43,420,169
(E) 前期繰越損益金	△132,831,145
(F) 解約差損益金	22,633,910
(G) 合計(D + E + F)	△ 66,777,066
償還差損益金(G)	△ 66,777,066

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

運用報告書 繰上償還（償還日 2021年1月26日）

（作成対象期間 2020年9月29日～2021年1月26日）

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

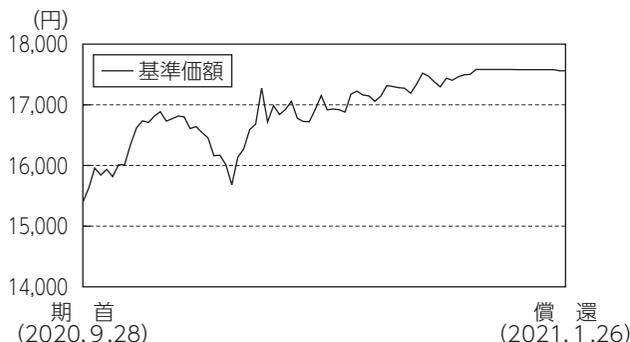
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指 数 (円換 算)		株 式 組 入 比 率	投 資 信 託 券 組 入 比 率	
	円	騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		%	%
(期首)2020年9月28日	15,394	-	8,276	-	83.9	10.2	
9月末	15,958	3.7	8,400	1.5	83.7	10.1	
10月末	16,012	4.0	8,198	△ 1.0	87.1	10.0	
11月末	16,919	9.9	9,491	14.7	87.4	10.0	
12月末	17,503	13.7	9,876	19.3	-	-	
(償還)2021年1月26日	17,561.09	14.1	10,204	23.3	-	-	

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200 指数 (円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200 指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 償還時：17,561円09銭 騰落率：75.6%

【基準価額の主な変動要因】

設定以来の基準価額は、オーストラリア株式市況が上昇したことがプラス要因となり、上昇しました。

◆設定以来の投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、設定から2016年半ばにかけて、原油や鉄鉱石価格の下落、また米国の利上げ時期をめぐる不透明感などを受けて上値の重い展開が続きました。その後、いったんは上昇に転じましたが、米国の早期利上げ観測の再燃や中国の貿易統計が市場予想を下回ったことから下落し、2017年9月にかけてはボックス圏での推移となりました。2018年9月にかけては、米中貿易摩擦への懸念が後退したことやオーストラリアのGDP (国内総生産) が市場予想を上回ったことなどをを受け、堅調に推移しました。

2018年末にかけては、米中貿易摩擦を巡る動向や世界経済の減速への警戒感などから、世界的に株式市場が軟調となる中で下落基調となりました。2020年2月中旬にかけては、米中通商協議の進展期待やRBA (オーストラリア準備銀行) の緩和的な金融政策姿勢などが好感され、上昇基調で推移しました。その後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済への影響が懸念されて急落しましたが、各国の政府や中央銀行による支援策や新型コロナウイルスのワクチンの開発期待などから反発するなど、変動の大きな展開となりました。

○為替相場

オーストラリア・ドルは対円で下落 (円高) しました。

オーストラリア・ドルの対円為替相場は、設定から2016年半ばにかけて、原油や鉄鉱石を中心とした商品市況が下落したことやRBA (オーストラリア準備銀行) による利下げなどを受けて下落しました。2017年9月にかけては、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けた市場のリスク選好の強まりや、オーストラリアの雇用者数の伸びが市場予想を上回る内容だったことなどが支援材料となり、上昇しました。その後は、原油価格の下落を受けたリスク回避姿勢の強まりや米国が中国製品に対する関税引き上げを表明したことによる米中貿易摩擦激化への懸念などをを受け、下落基調となりました。また2020年2月には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて急落しましたが、その後の各国の政府や中央銀行による支援策、新型コロナウイルスのワクチンの開発期待などから反発するなど、変動の大きな展開となりました。

◆信託期間中の運用方針

主として、オーストラリアの小型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざします。また、ニュージーランドの小型株式等にも投資します。外貨建資産の運用にあたっては、アパディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかるとの権限を委託します。

◆信託期間中ポートフォリオについて

外貨建資産の運用にあたっては、アパディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかるとの権限を委託し、主としてオーストラリアやニュージーランドの小型株式等のうち、強固なバランスシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	5円 (5) (0)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	19 (19)
合計	24

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(2) 投資信託証券

(2020年9月29日から2021年1月26日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外	オーストラリア	千口	千オーストラリア・ドル	千口	千オーストラリア・ドル
		7,545 (—)	39 (—)	409.162 (—)	1,455 (—)
国	ニュージーランド	千口	千ニュージーランド・ドル	千口	千ニュージーランド・ドル
		(—)	(—)	248.01 (—)	571 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■ 売買および取引の状況

(1) 株式

(2020年9月29日から2021年1月26日まで)

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外	オーストラリア	百株	千オーストラリア・ドル	百株	千オーストラリア・ドル
		2,833.25 (2,014.14)	1,001 (5)	29,273.47	16,602
国	ニュージーランド	百株	千ニュージーランド・ドル	百株	千ニュージーランド・ドル
		166 (—)	60 (—)	5,944.04	2,021

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株式

(2020年9月29日から2021年1月26日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価		
	千株	千円	円		千株	千円	円		
GWA GROUP LTD (オーストラリア)	68.237	15,062	220	XERO LTD (ニュージーランド)	7.1	78,721	11,087		
TYRO PAYMENTS LTD (オーストラリア)	44.485	13,540	304	FISHER & PAYKEL HEALTHCARE C (ニュージーランド)	31.2	76,761	2,460		
GOLD ROAD RESOURCES LTD (オーストラリア)	98.4	10,108	102	BAPCOR LTD (オーストラリア)	120.2	70,689	588		
MEGAPORT LTD (オーストラリア)	5.95	6,568	1,103	MEGAPORT LTD (オーストラリア)	55.35	61,029	1,102		
ZIP CO LTD (オーストラリア)	12	5,633	469	AUCKLAND INTL AIRPORT LTD (ニュージーランド)	102.4	59,623	582		
DOMAIN HOLDINGS AUSTRALIA LT (オーストラリア)	16.8	5,098	303	PRO MEDICUS LTD (オーストラリア)	23	58,654	2,550		
IPH LTD (オーストラリア)	9.2	5,036	547	ARB CORP LTD (オーストラリア)	24.1	58,401	2,423		
PINNACLE INVESTMENT MANAGEME (オーストラリア)	10	4,565	456	NZX LTD (ニュージーランド)	404.2	55,271	136		
NAPIER PORT HOLDINGS LTD (ニュージーランド)	16.6	4,162	250	SPARK NEW ZEALAND LTD (ニュージーランド)	163.1	54,970	337		
SERKO LTD (ニュージーランド)	10.993	3,402	309	HUB24 LTD (オーストラリア)	32.36	52,218	1,613		

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

(1) 外国株式

銘柄	株数	業種等
(オーストラリア)		
CEDAR WOODS PROPERTIES LTD	876	不動産
XERO LTD	71	情報技術
NETWEALTH GROUP LTD	164	金融
HUB24 LTD	319	金融
APPEN LTD	117	情報技術
PRO MEDICUS LTD	230	ヘルスケア
PINNACLE INVESTMENT MANAGEME	546	金融
SERKO LTD	669.1	情報技術
IPH LTD	393	資本財・サービス
IDP EDUCATION LTD	214.1	一般消費財・サービス
SARACEN MINERAL HOLDINGS LTD	1,205	素材
GOLD ROAD RESOURCES LTD	1,736	素材
COOPER ENERGY LTD	4,072	エネルギー
DOMAIN HOLDINGS AUSTRALIA LT	849	コミュニケーション・サービス
MEGAPORT LTD	494	情報技術
PUSHPAY HOLDINGS LTD	797	情報技術
AUDINATE GROUP LTD	266.03	情報技術
TYRO PAYMENTS LTD	1,108	情報技術
TEMPLE & WEBSTER GROUP LTD	314.73	一般消費財・サービス
ZIP CO LTD	386	金融
BEACH ENERGY LTD	2,842	エネルギー
FISHER & PAYKEL HEALTHCARE C	312	ヘルスケア
SPARK NEW ZEALAND LTD	1,631	コミュニケーション・サービス
MONADELPHOUS GROUP LTD	441	資本財・サービス
NIB HOLDINGS LTD	390	金融
AUB GROUP LTD	304	金融
NANOSONICS LTD	396	ヘルスケア
ARB CORP LTD	241	一般消費財・サービス
BAPCOR LTD	1,202	一般消費財・サービス
BRICKWORKS LTD	204	素材
NEXTDC LTD	248	情報技術
NEARMAP LTD	364.12	情報技術
AUCKLAND INTL AIRPORT LTD	1,024	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数 24,426.08 銘柄数 33銘柄	
(ニュージーランド)		
PORT OF TAURANGA LTD	935	資本財・サービス
DELEGAT GROUP LTD	221	生活必需品
NAPIER PORT HOLDINGS LTD	580.04	資本財・サービス

銘柄	株数	業種等
NZX LTD	4,042	金融
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数 5,778.04 銘柄数 4銘柄	
ファンド合計	株数 30,204.12 銘柄数 37銘柄	

(2) 外国投資信託証券

銘柄	口数
(オーストラリア)	
WAYPOINT REIT	千口 243.5
CHARTER HALL LONG WALE REIT	87.155
ALE PROPERTY GROUP	70.962
オーストラリア・ドル 通貨計	口数 401.617 銘柄数 3銘柄
(ニュージーランド)	
GOODMAN PROPERTY TRUST	千口 248.01
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数 248.01 銘柄数 1銘柄
合計	口数 649.627 銘柄数 4銘柄

■投資信託財産の構成

2021年1月26日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 1,015,646	% 100.0
投資信託財産総額	1,015,646	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年1月26日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	1,015,646,247円
コール・ローン等	1,015,646,247
(B) 負債	517
未払利息	517
(C) 純資産総額(A - B)	1,015,645,730
元本	578,350,044
償還差損益金	437,295,686
(D) 受益権総口数	578,350,044口
1万口当り償還価額(C / D)	17,561円09銭

* 期首における元本額は926,468,814円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は348,118,770円です。

* 償還時における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ツインアクセル（ブラジル国債 & オーストラリア小型株式）≪2021-01≫578,350,044円です。

* 償還時計算口数当りの純資産額は17,561円09銭です。

■損益の状況

当期 自2020年9月29日 至2021年1月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,307,981円
受取配当金	2,996,231
受取利息	122
支払利息	△ 688,372
(B) 有価証券売買損益	193,572,911
売買益	242,980,068
売買損	△ 49,407,157
(C) その他費用	△ 1,644,743
(D) 当期損益金(A + B + C)	194,236,149
(E) 前期繰越損益金	499,740,767
(F) 解約差損益金	△256,681,230
(G) 合計(D + E + F)	437,295,686
償還差損益金(G)	437,295,686

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。